

# (仮称)三十三間山風力発電事業に係る 計画段階環境配慮書について



2022年 11月

株式会社ジャパンウィンドエンジニアリング



# 目次

---

1. 会社概要
2. 計画概要について
3. 環境アセスメント配慮書について

# 目次

---

## 1. 会社概要

## 2. 計画概要について

## 3. 環境アセスメント配慮書について

# 会社概要

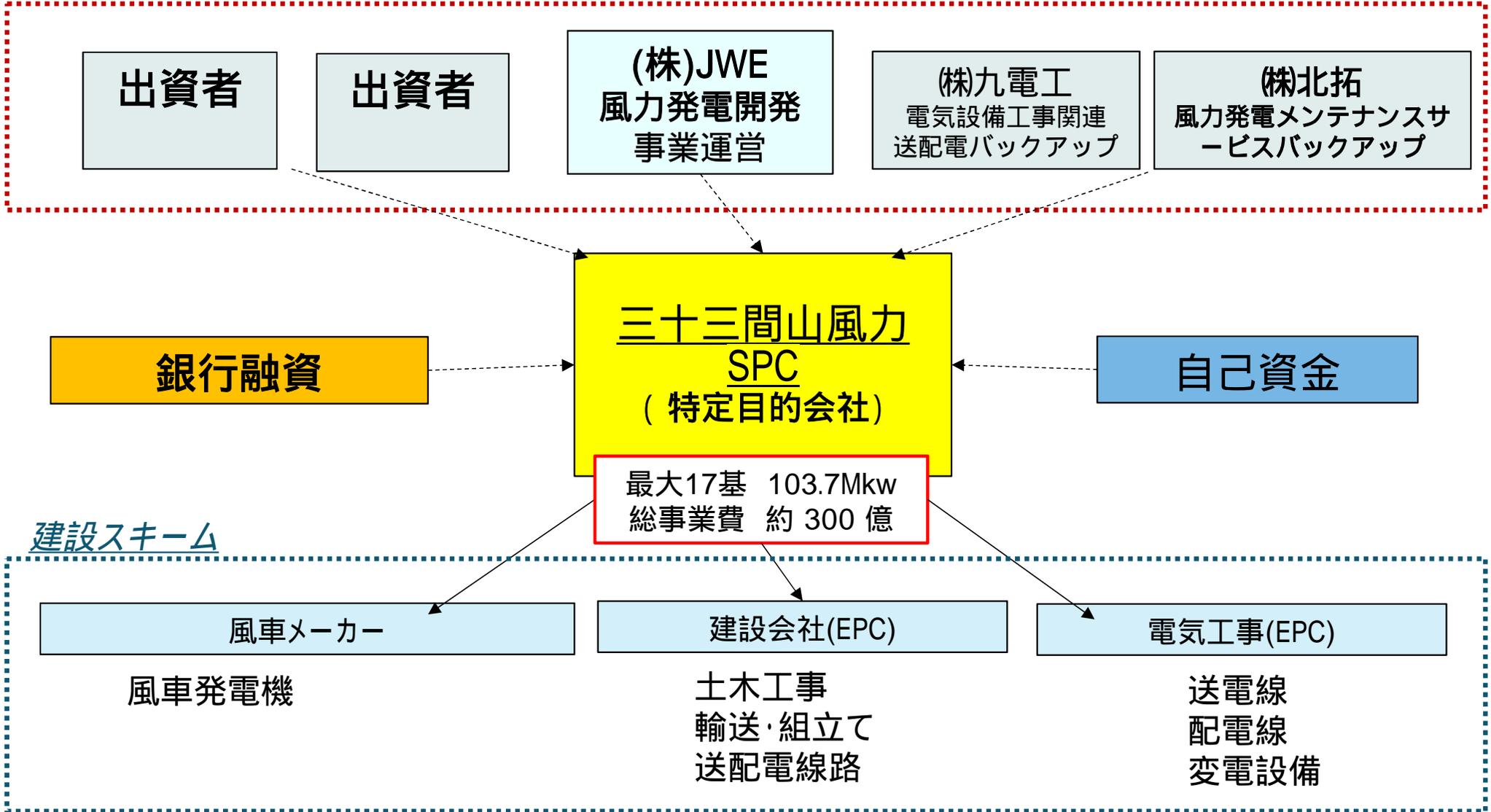
会社名	株式会社ジャパンウィンドエンジニアリング
所在地	東京都港区赤坂二丁目9番3号 第一松浦ビル2F TEL: 03-6441-3648 FAX: 03-6441-3649
設立年月日	平成26年8月18日
事業内容	1)風力エネルギーによる発電および電力販売事業 2)風力発電、変電用および送電用電気設備プラントの据付工事、設計請負および監理に関するコンサルタントならびに情報提供サービス 3)風力発電所の運転、管理に関する業務 4)風力発電技術コンサルタント業 5)環境アセスメントに関する業務 6)前各号に附帯関連する一切の業務
資本金	9,500,000円
役員	代表取締役: 中渡瀬 秀廣 取締役: 三保谷 明 取締役: 大名 直樹
従業員数	12名
主な取引先 (敬称略)	四国電力株式会社 株式会社九電工 J R 東日本エネルギー開発株式会社 清水建設株式会社 住友商事株式会社 東京電力ホールディングス株式会社 GEリニューアブルエナジー 株式会社日立パワーソリューションズ 株式会社北拓 関西電力株式会社
取引先銀行	みずほ銀行 埼玉りそな銀行 北陸銀行

## JWE が現在開発中の地点

JWEが開発中の地点	発電所出力	運転開始予定
松島風力発電所 (長崎県西海市)	6,900kw	2018年11月 (運転中)
波松風力発電事業 (福井県あわら市)	7,050kw	2022年6月 (運転中)
野母崎風力発電事業 (長崎県長崎市)	6,900kw	2025年11月
葛尾風力発電事業 (福島県葛尾村)	15,000kw	2025年4月
阿武隈風力発電事業 (福島県葛尾村、浪江町、大熊町、田村町)	147,000kw	2025年4月
今ノ山風力発電事業(高知県土佐清水市、三原村)	193,000kw	2027年3月

# 事業スキーム

## 事業スキーム



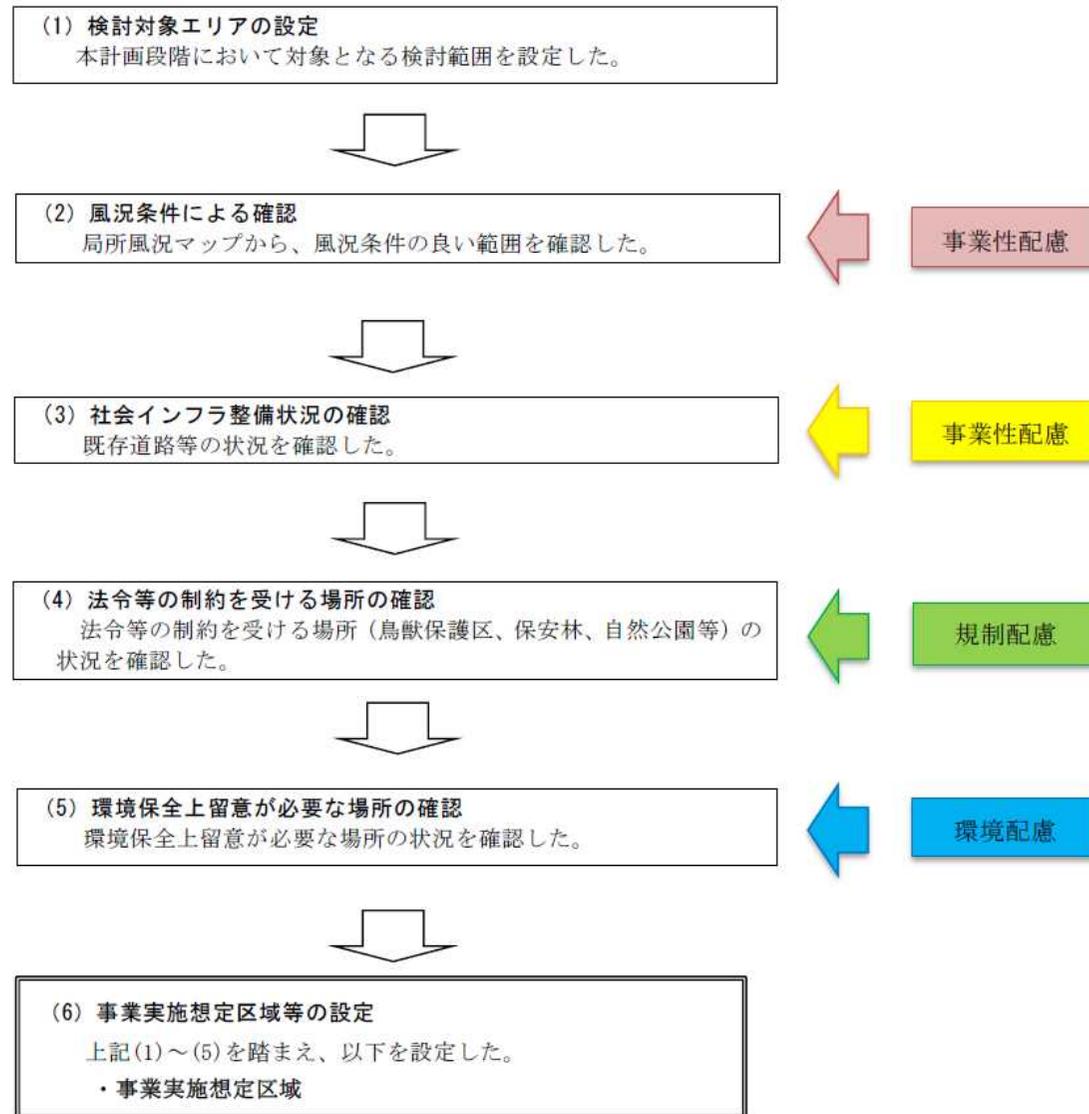
# 目次

---

1. 会社概要
2. 計画想定概要について
3. 環境アセスメント配慮書について

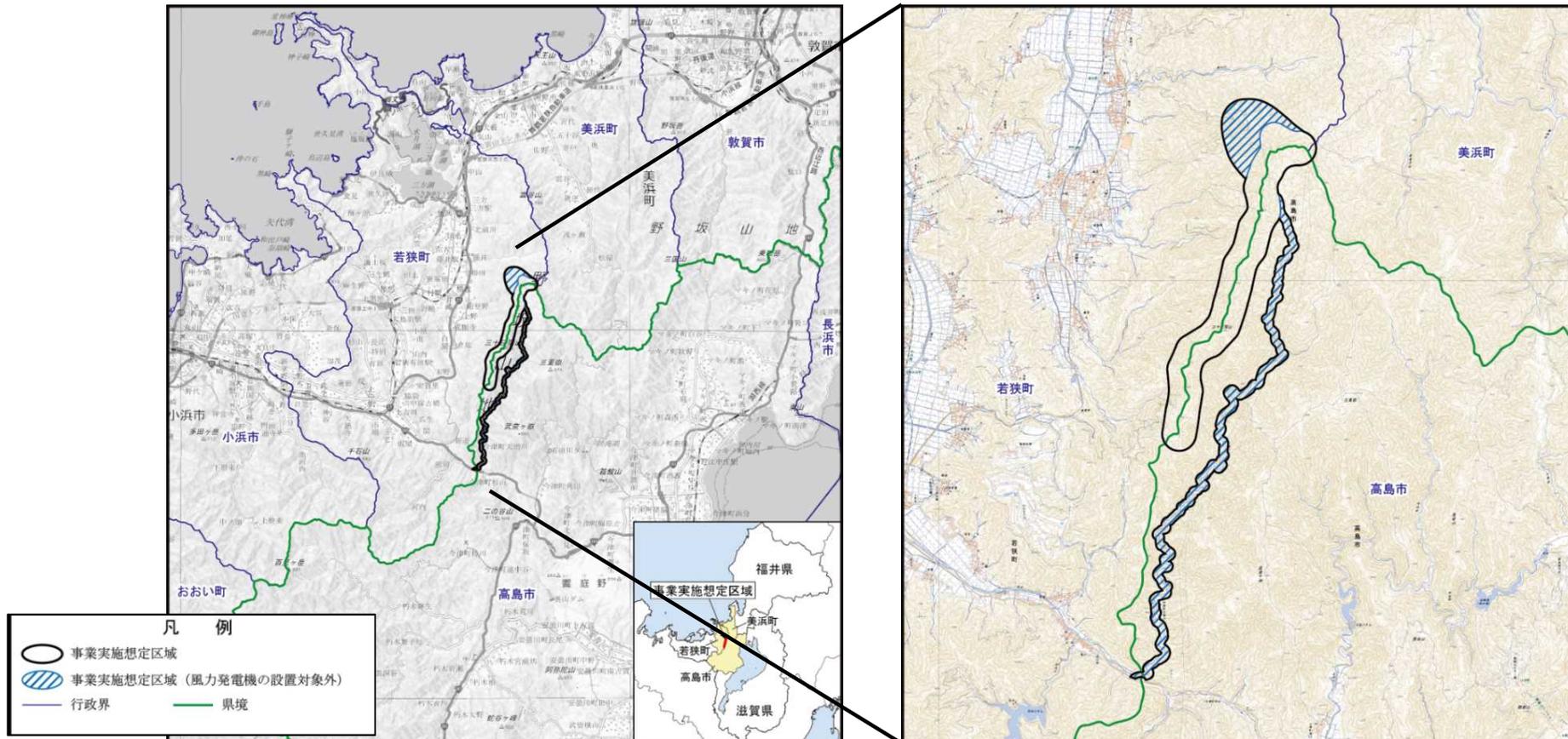
# 計画想定概要

以下に示す検討フローを踏まえ、事業実施想定区域の設定を行いました。



# 計画想定概要

環境アセスメントの実施にあたり、事業実施想定区域を以下の通り設定しております。

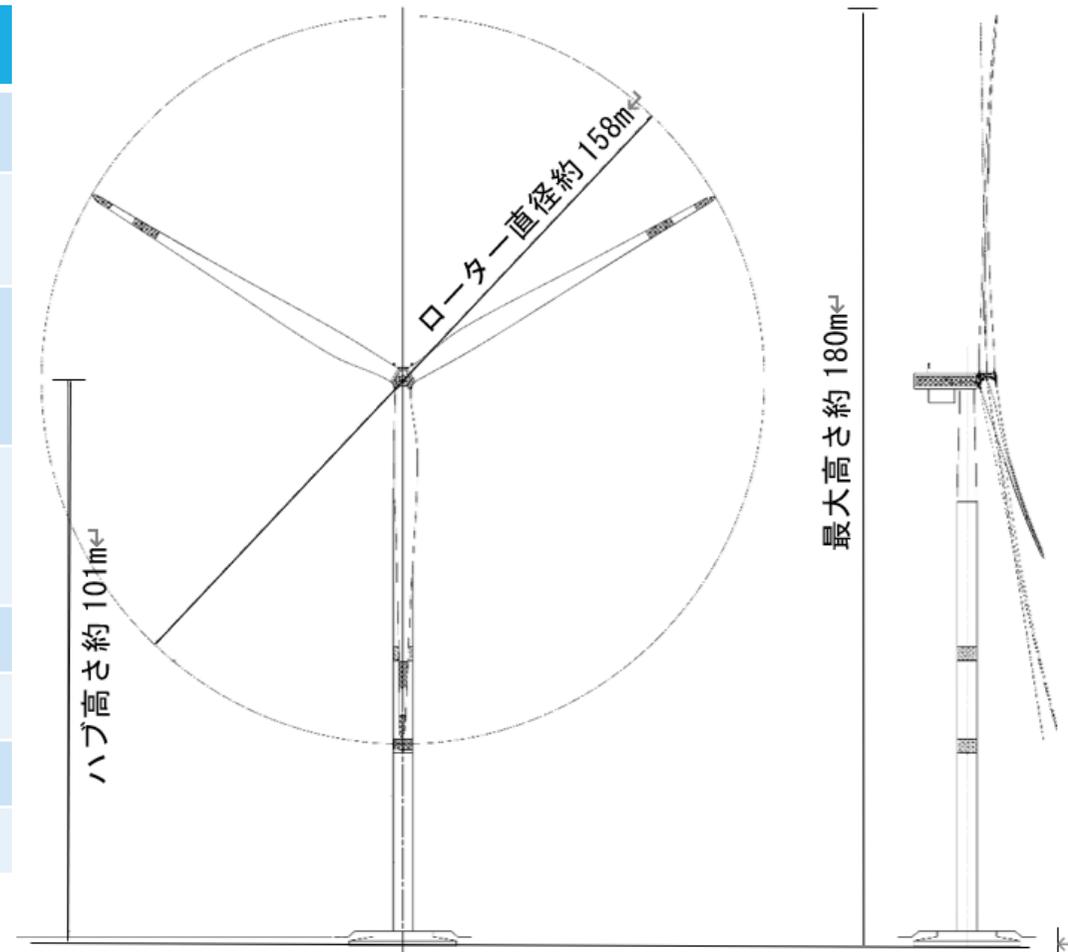


事業実施想定区域は、風力発電機の設置可能性のない範囲はあらかじめ除外しているものの、現時点で想定する風力発電機の設置範囲及び改変を想定する範囲を包含するよう尾根上に沿って広めに設定しており、方法書以降の手続きにおいて環境影響の回避・低減を考慮して事業実施区域の絞り込みを行う予定です。方法書以降の手続きにおいて事業実施区域を絞り込む予定であり、このような検討の進め方は「計画段階配慮手続に係る技術ガイド」（環境省計画段階配慮技術手法に関する検討会、平成25年）において、「位置・規模の複数案からの絞り込みの過程」であり、「区域を広めに設定する」タイプの「位置・規模の複数案」の一種とみなすことができるとされています。

# 計画想定概要

## 風力発電所の概要

事業の名称	(仮称) 三十三間山風力発電事業
発電所出力	最大103,700kW (6,100kW×最大17基)
事業実施想定区域の位置	福井県三方上中郡若狭町・滋賀県高島市の行政界周辺及び福井県三方郡美浜町
事業実施想定区域の面積	約905.46ha (風力発電機設置予定範囲は約645.26ha)
ブレード枚数	3枚
ローター直径	約158m
ハブ高さ	約101m
最大高さ	約180m



記載している風力発電機の仕様は、現時点で想定し得る風力発電機のものであり、機種を採用や決定を行っているものではありません。

# 目次

---

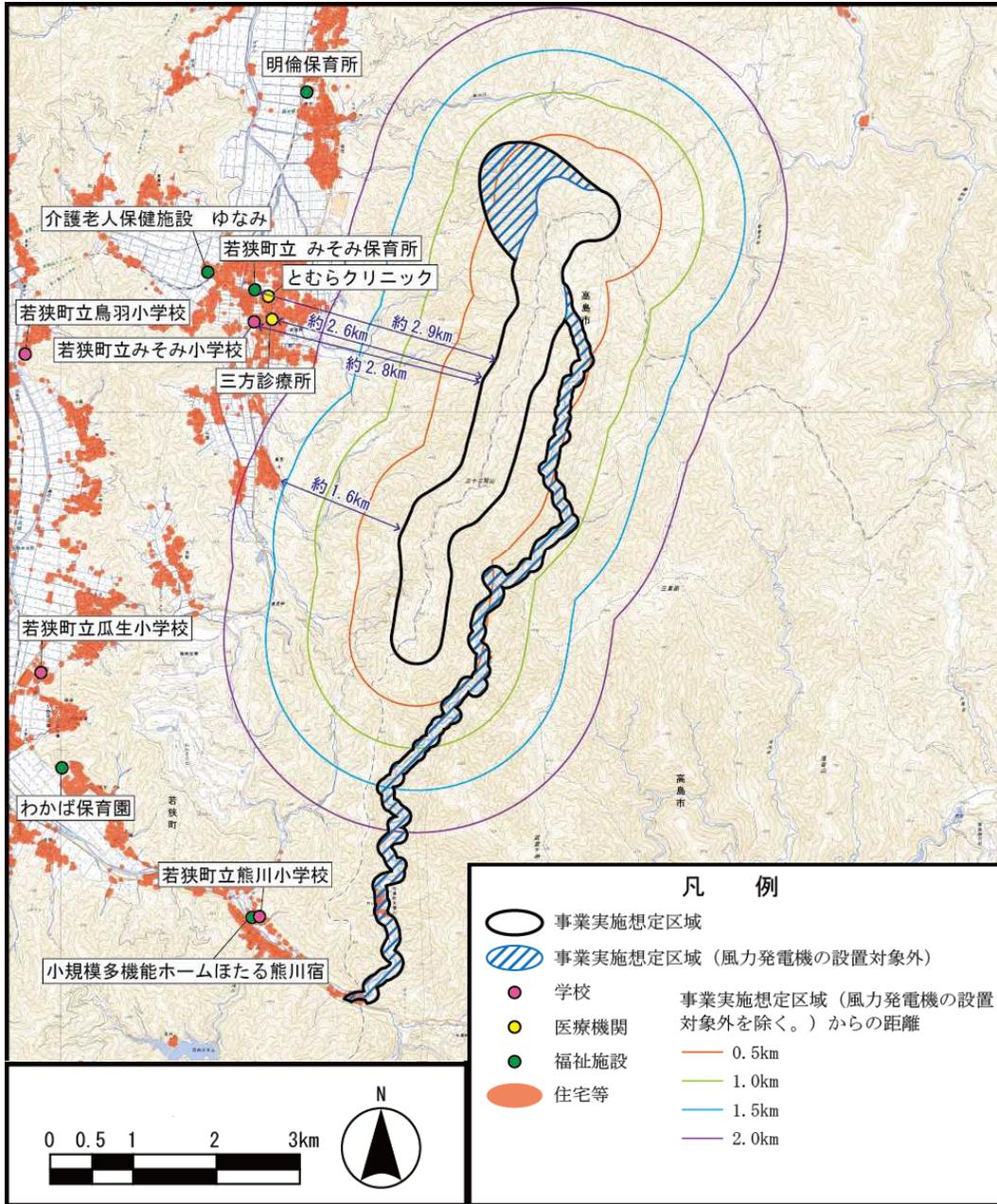
1. 会社概要
2. 計画概要について
3. 環境アセスメント配慮書について

# 計画段階配慮事項の選定

- 「発電所アセス省令（別表第6）」（経済産業省）に基づいて、配慮事項を選定しております。
- なお、配慮書段階では、計画熟度が低いことから、工事の実施による影響は対象としていません。方法書以降では改めて項目選定を行います。

環境要素の区分			影響要因の区分 (土地又は工作物の存在及び供用)
1	大気環境	騒音及び超低周波音	○
2	その他の環境	重要な地形及び地質	○
3	その他の環境	風車の影	○
4	動物	重要な種及び注目すべき生息地	○
5	植物	重要な種及び重要な群落	○
6	生態系	地域を特徴づける生態系	○
7	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	○
8	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○

# 1.騒音及び超低周波音



## 調査結果

【風力発電機の設置予定範囲から2.0kmの範囲における住宅等】

総数：67戸 滋賀県は0戸

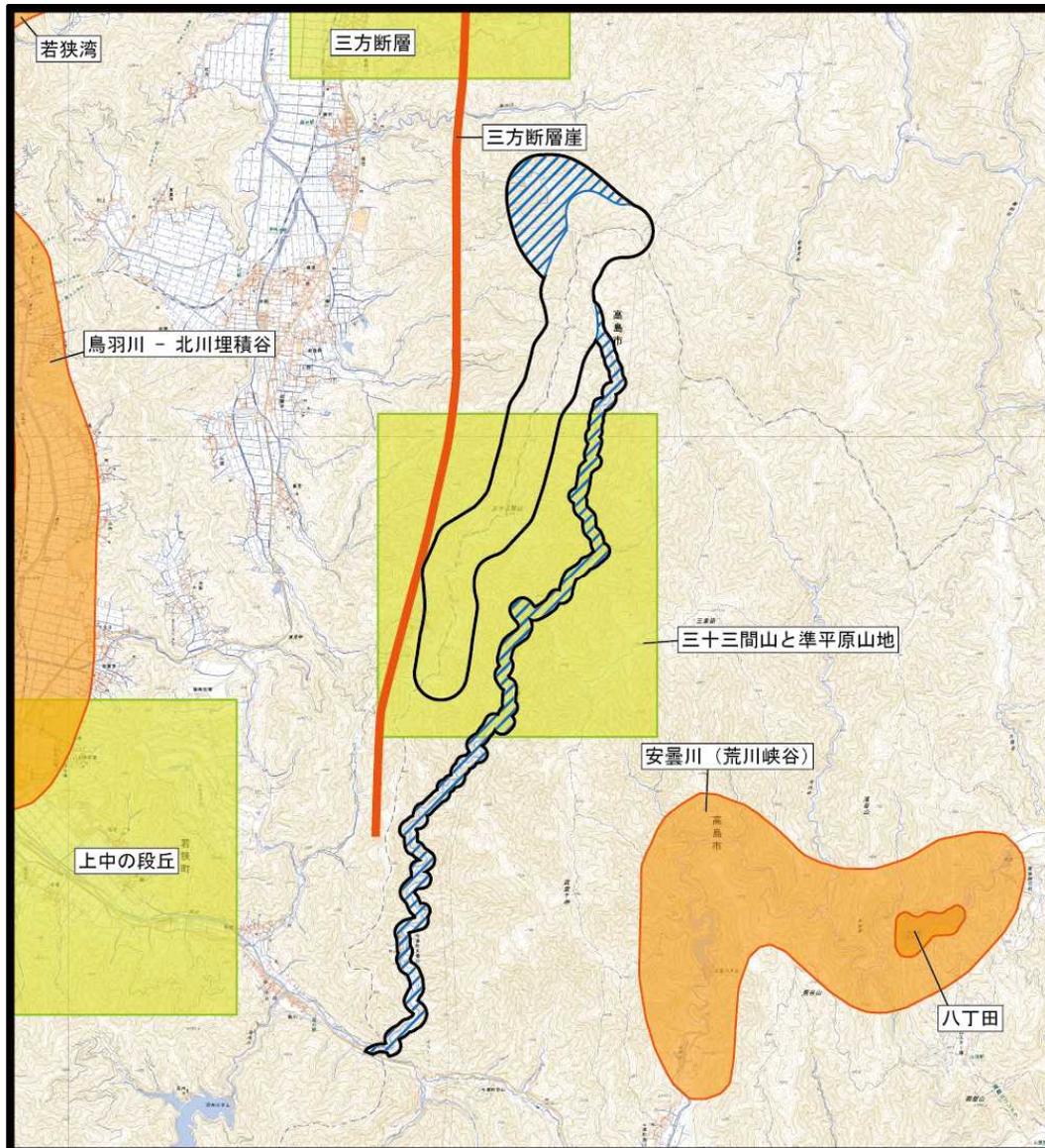
また、事業実施想定区域及びその周囲の一部がB類型に指定されている。

## 評価結果

今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 配慮が特に必要な施設等からの距離に留意して、風力発電機の配置及び機種を検討する。
- 超低周波音を含めた音環境を把握し、風力発電機の選定状況に応じたパワーレベルを設定したうえで予測計算を行うとともに、騒音及び超低周波音の影響の程度を把握し、必要に応じて環境保全措置を実施する。予測計算に際しては、地形による回折効果、空気吸収の減衰及び地表面の影響による減衰を考慮する。
- 今後、実施する調査及び予測結果を踏まえ、必要に応じて、風力発電機の基数や配置の見直し等を行う。

## 2.重要な地形及び地質



## 調査結果

【事業実施想定区域に位置する地形】

「三十三間山と準平原山地」

(「福井県のすぐれた自然」(福井県、平成11年))

## 評価結果

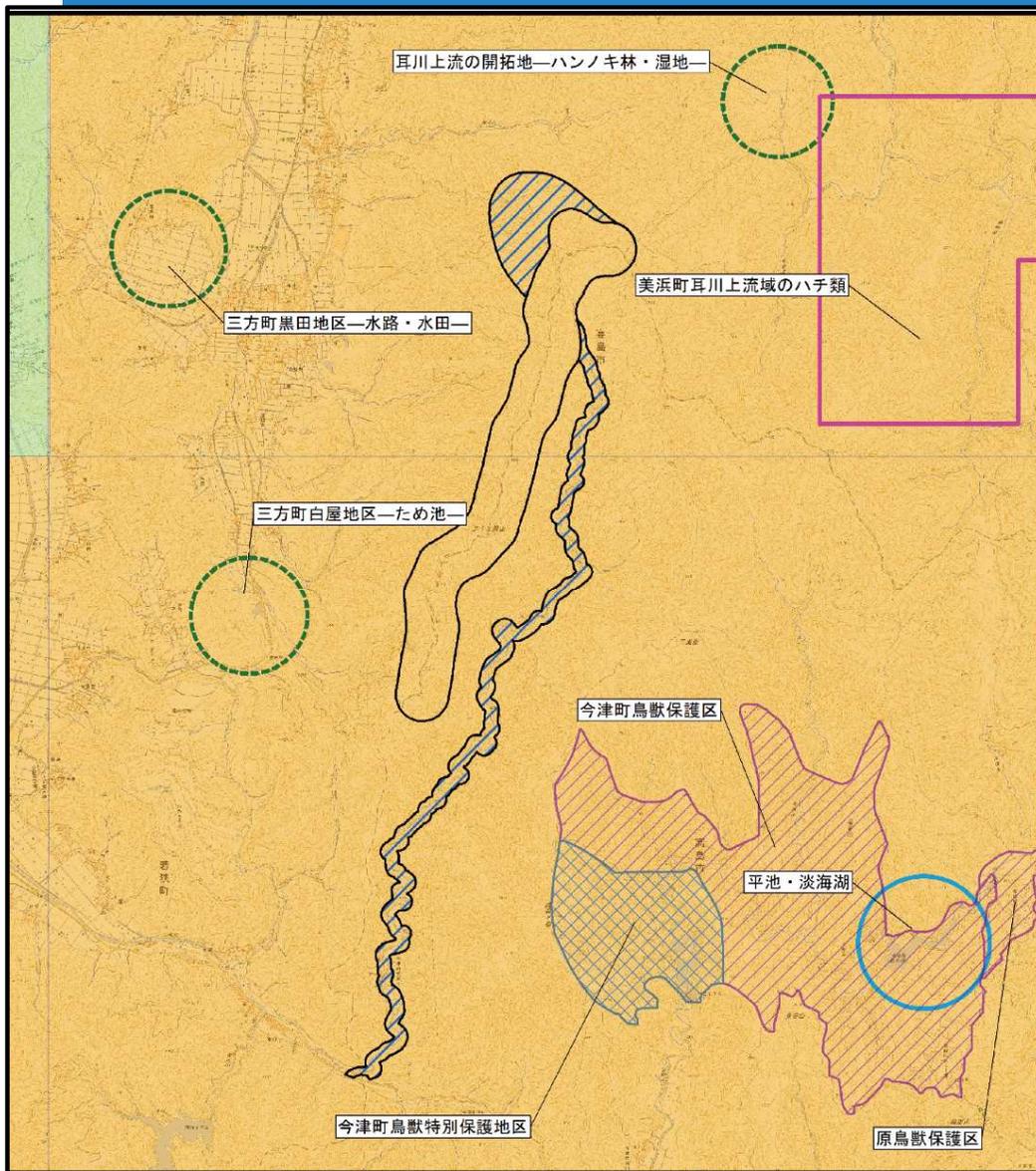
今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 重要な地形等の状況を踏まえ、必要に応じて、改変面積を最小化する等の環境保全措置を実施する。

### 3.風車の影

調査結果	【風力発電機の設置予定範囲から2.0kmの範囲における住宅等】 総数：67戸
評価結果	<p>今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 配慮が特に必要な施設等からの距離に留意して、風力発電機の配置及び機種を検討する。</li><li>• 風車の影の影響範囲及び時間を数値シミュレーションにより把握し、地形や遮蔽物、気象条件等を十分考慮の上、必要に応じて環境保全措置を検討する。</li><li>• 今後、実施する調査及び予測結果を踏まえ、必要に応じて、風力発電機の基数や配置の見直し等を行う。</li></ul>

## 4.動物(1)



## 調査結果

## 重要な種

【福井県】哺乳類15種、鳥類138種、爬虫類7種、両生類12種、昆虫類74種、魚類34種、陸産貝類22種及び淡水産貝類17種

【滋賀県】哺乳類14種、鳥類113種、爬虫類6種、両生類13種、昆虫類75種、魚類40種、陸産貝類22種及び淡水産貝類9種

【両県の合計】哺乳類18種、鳥類147種、爬虫類7種、両生類14種、昆虫類120種、魚類50種、陸産貝類29種及び淡水産貝類19種の合計404種

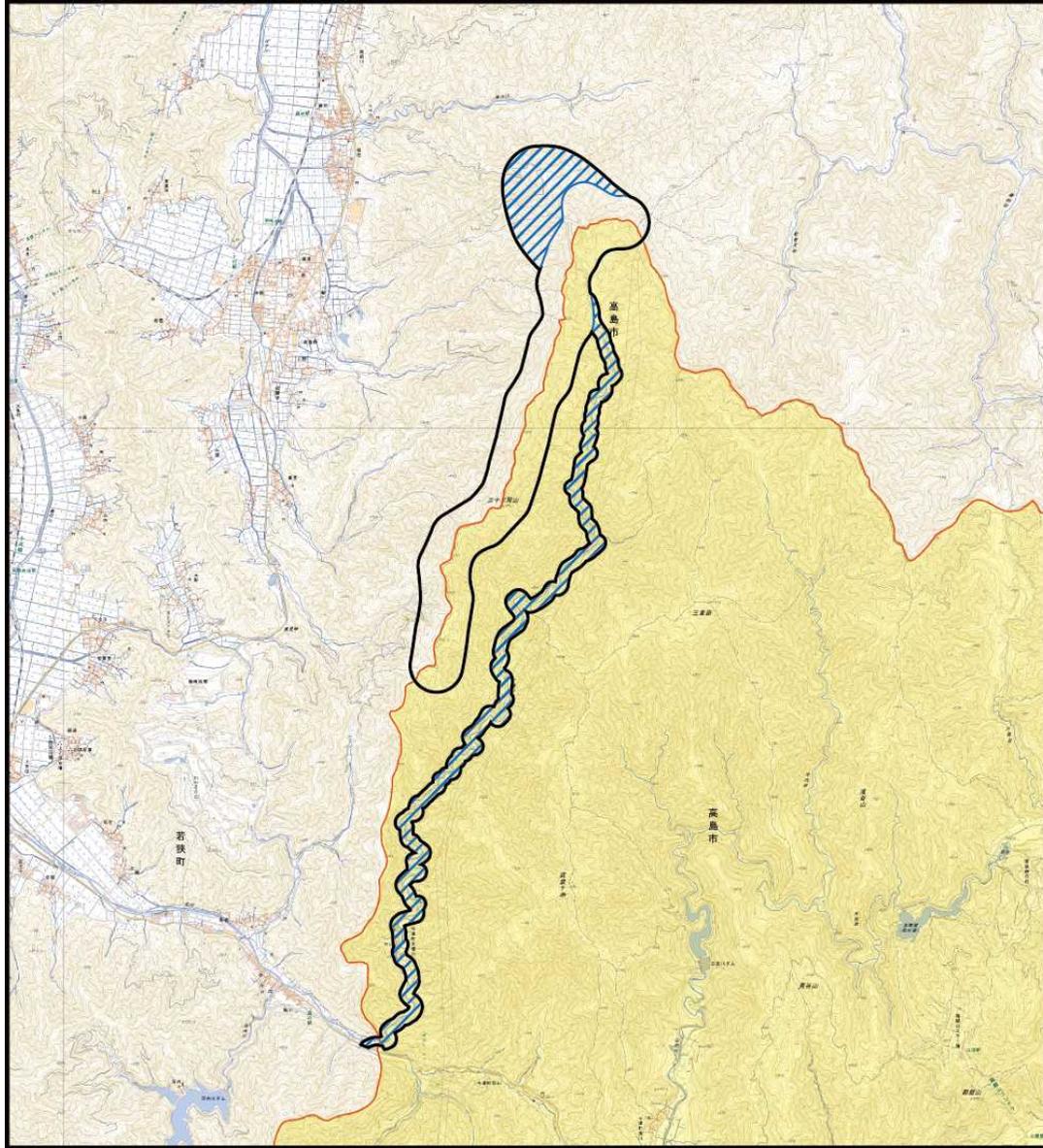
## 動物の注目すべき生息地

【環境アセスメントデータベース センシティブティマップ】：「注意喚起レベルA3」

## 凡 例

- 事業実施想定区域
  - ◐ 事業実施想定区域(風力発電機の設置対象外)
  - ◑ 鳥獣保護区
  - ◒ 鳥獣保護区(特別保護地区)
  - ◓ 福井県のすぐれた自然
  - ◔ 守り伝えたい福井の里地里山
  - ◕ 守りたい育てたい湖国の自然100選
- センシティブティマップ
- 注意喚起レベルA3
  - 注意喚起レベルB

## 4.動物(2)



## 調査結果

## 重要な種

【福井県】哺乳類15種、鳥類138種、爬虫類7種、両生類12種、昆虫類74種、魚類34種、陸産貝類22種及び淡水産貝類17種

【滋賀県】哺乳類14種、鳥類113種、爬虫類6種、両生類13種、昆虫類75種、魚類40種、陸産貝類22種及び淡水産貝類9種

【両県の合計】哺乳類18種、鳥類147種、爬虫類7種、両生類14種、昆虫類120種、魚類50種、陸産貝類29種及び淡水産貝類19種の合計404種

## 動物の注目すべき生息地

事業実施想定区域内には、滋賀県イヌワシ・クマタカ保護指針（滋賀県、令和2年）によるイヌワシ・クマタカの保護及び生息環境保全ゾーンが位置している。

## 凡 例

-  事業実施想定区域
-  事業実施想定区域（風力発電機の設置対象外）
-  イヌワシ・クマタカ保護および生息環境保全ゾーン

## 4.動物(3)

### 評価結果

今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- コウモリ類については、バットストライクが生じる可能性があることを踏まえた上で、捕獲による調査を含むコウモリ相の把握に努め、飛翔高度や渡り等にも留意した調査を実施する。
- イヌワシ、クマタカ等の猛禽類については、「猛禽類保護の進め方(改訂版)」(環境省、平成24年)に準拠した調査を実施する。
- ガン・カモ・ハクチョウ類、猛禽類及び小鳥類の渡り鳥の移動ルートにも留意し、可能な限り移動状況を把握できるような調査を実施する。
- 計画熟度が高まる方法書以降の手続きにおいて、専門家等へのヒアリングも踏まえ、適切な調査時期や調査手法を行った上で予測・評価を実施する。
- 方法書以降の現況調査の結果を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地への影響の程度、バードストライク等を適切に予測し、必要に応じて風力発電機の基数や配置、改変区域の見直し等を行う。
- 土地の改変による濁水等の流入が生じないような計画や工法について検討し、生息環境への影響の低減を図る。

## 4.動物(4)

## 専門家ヒアリング結果概要(専門家A)

専門分野	属性	概要
哺乳類(コウモリ類)	名誉教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した文献その他の資料については、現在文献その他の資料一覧に挙がっているものに加え、県のレッドデータ・ブックの巻末に掲載されている参考文献、「福井市自然史博物館研究報告」(福井市自然史博物館)や「東洋蝙蝠研究所紀要」(東洋蝙蝠研究所)も確認を行って、当該区域に関係する情報は追記すること。</li> <li>・三十三間山付近はコウモリ類の生息情報が少ない地域であり、長距離移動が可能な種については当該地域を通過する可能性があるため、現地調査を実施してもらいたい。</li> <li>・確認種一覧については概ね問題はないが、当該地域の環境とコウモリ類の生態特性を踏まえつつ、長距離移動が可能な種についても考慮した上で、コキクガシラコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、ノレンコウモリ、オヒキコウモリ、ヒナコウモリ及びヤマコウモリといった種についても確認種一覧に追記すること。</li> </ul>

## 4.動物(5)

## 専門家ヒアリング結果概要（専門家B）

専門分野	属性	概要
哺乳類（コウモリ類）	高校教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配慮書での確認種については、概ね問題ないかと思う。しかし、クロホオヒゲコウモリといった珍しい種が挙げられているということは、ヒメホオヒゲコウモリやカグヤコウモリも生息していると考えられるだろう。</li> <li>・ ユビナガコウモリについては、ヒナコウモリ科ではなくユビナガコウモリ科となったので修正すること。</li> <li>・ もう一方の専門家ヒアリングの結果、計6種（コキクガシラコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、ノレンコウモリ、ヤマコウモリ、ヒナコウモリ、オヒキコウモリ）を追加しているが、このうちクロホオヒゲコウモリ以外は福井県にも生息していると考えられる種である。</li> </ul>

## 4.動物(6)

## 専門家ヒアリング結果概要(専門家C)

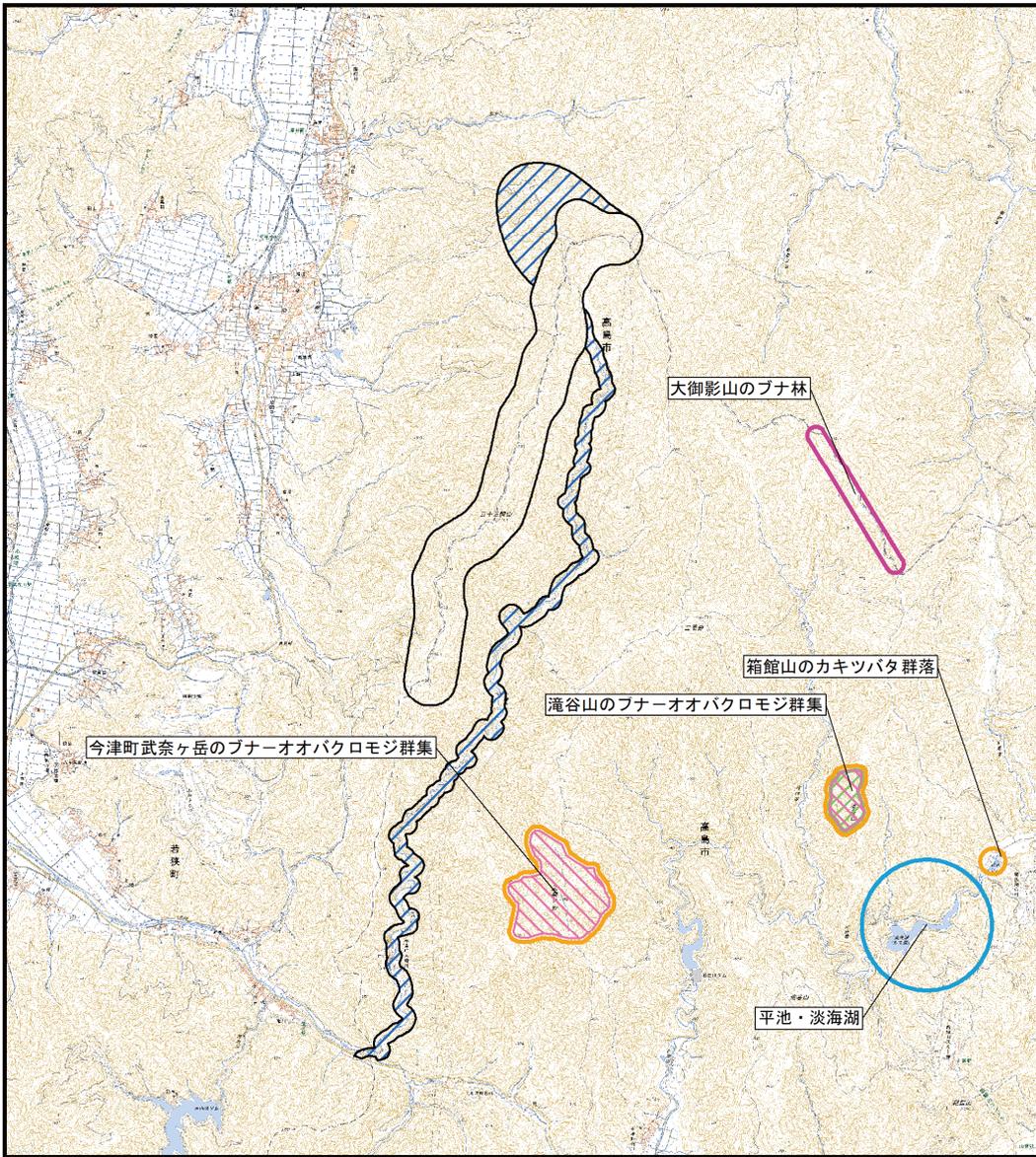
専門分野	属性	概要
鳥類	環境省希少野生動物種保存推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県で実施したイヌワシの調査報告書があるので、それも参考にすること。</li> <li>・アメリカヒドリ、ウズラシギ、イスカ、ハギマシコも記録がある。タンチョウは若狭町で記録がある。</li> <li>・環境アセスメントデータベースには記載されていないようだが、ガン・カモ・ハクチョウ類は三方湖から琵琶湖への移動ルートがある。</li> <li>・特にハクチョウ類はこの移動ルートを通過することが頻繁に見られている。</li> <li>・もう一つは三方湖から穴道湖への移動ルートがある。</li> <li>・福井県の嶺南地方の海岸線沿いは鳥類の渡りルートとして有名である。過去にかすみ網で密漁していた時代もあった。野鳥の会で「つぐみ」という会報誌があるのでそれを参考にするとよい。</li> <li>・環境省ガンカモ類生息調査の表は過去10年間の結果を示すこと。また、図郭の範囲であればまだ調査地点(水月湖)があるはずなので再確認すること。</li> <li>・コウノトリの分布マップは範囲が広すぎて県内の状況がわからない。福井県にGPSや目撃情報があるはずなので問い合わせること。</li> <li>・動物の注目すべき生息地等の選定基準にある名称は再確認すること。</li> <li>・動物の注目すべき生息地等で選定されている耳川上流域の開拓地については再確認すること。</li> <li>・動物の重要な種の予測結果について、樹林、草地、水辺などの環境のほか、鳥類は飛翔する動物なので空間を追記すること。</li> <li>・評価結果に「方法書以降に留意すべき事項」としていくつか列記されているが、渡り鳥はガン・カモ・ハクチョウ類のみならず、猛禽類、小鳥類も多く渡っている。「等」で済ませるのではなく、これらの鳥類も記載すること。</li> </ul>

## 4.動物(7)

## 専門家ヒアリング結果概要(専門家D)

専門分野	属性	概要
鳥類	自然保護団体副代表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県の鳥類に関する文献資料が少ないように思う。</li> <li>・確認種リストから重要種の予測評価を行っているが、事業実施想定区域が山岳地であり、樹林や草地がある環境で鳥類がこういった利用をしているのか。繁殖地、渡りの中継地、越冬地などの利用形態が重要であり、この辺を十分に把握した上で影響予測をする必要がある。</li> <li>・鳥類には飛翔という特有の行動がある。この地域は湖北から北陸にかけて、冬季における小鳥類の主要なルートになっている。何種類もの鳥類がこの付近の尾根を越えて渡ってくる。過去にはかすみ網で捕獲をしていた時もあった。山岳地を通らずに北上、南下はあり得ないが、調査が難しいので研究等は行われていない。</li> <li>・尾根を越えてくる際には飛翔高度が下がってくると思う。事業実施想定区域はそういった渡りのルートに位置している可能性がある。</li> <li>・実態は不明だが、事業実施想定区域の位置を見た限り、渡り鳥は尾根を通過するのでリスクが高いのではないかと感じた。</li> <li>・事業実施想定区域付近は冬季に鳥類が多く渡ってくる。大陸から渡ってきた鳥類(小鳥類)が西日本一帯に分散していく入口部分にあたるだろう。</li> <li>・現地調査の際には、調査時期、調査方法、調査回数などの十分な検討を行って実施し、その内容を詳細に記載する必要がある。その上で、調査した結果がどうだったのかを記載することが重要である。</li> <li>・10月から11月頃にマヒワ、アトリなどの小鳥類が多く渡ってくる。ほとんどが日中ではないかと思うが、津軽半島の研究では夜間にも渡っているという報告もある。ただし、そんなに長い時間は調査をできないと思うので、可能な範囲で努力はして欲しい。</li> </ul>

# 5.植物(1)



**調査結果**

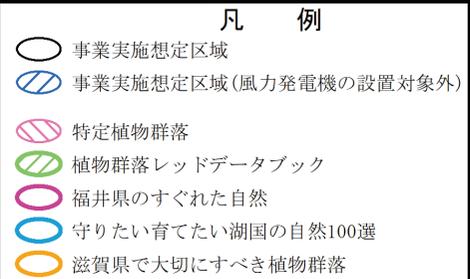
重要な種の確認状況  
 【福井県】267種  
 【滋賀県】161種  
 【両県の合計】333種

重要な植物群落  
 事業実施想定区域内に、重要な植物群落はない。

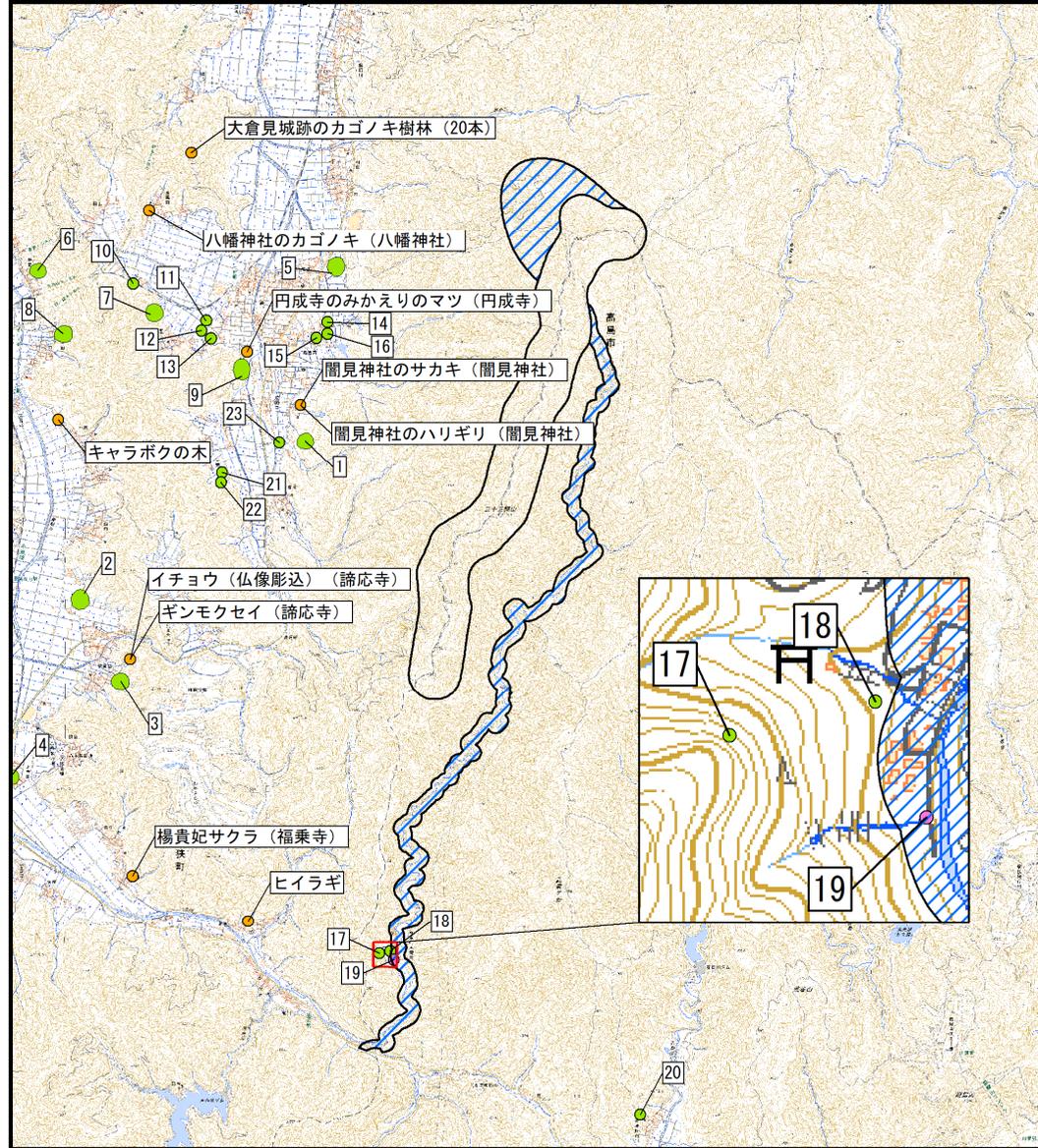
**評価結果**

今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 土地の改変による濁水等の流入が生じないような計画や工法について検討し、生育環境への影響の低減を図る。
- 方法書以降の現況調査の結果を踏まえ、重要な種、群落及び巨樹・巨木林への影響の程度を適切に予測し、必要に応じて風力発電機の基数や配置、改変区域の見直し等を行う。



# 5.植物(2)



**調査結果** 巨樹・巨木・天然記念物  
 【事業実施想定区域内の巨樹・巨木林】1件  
 No.19(樹種：タブノキ 幹周：310cm 樹高：30m)

**評価結果** 今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 土地の改変による濁水等の流入が生じないような計画や工法について検討し、生育環境への影響の低減を図る。
- 方法書以降の現況調査の結果を踏まえ、重要な種、群落及び巨樹・巨木林への影響の程度を適切に予測し、必要に応じて風力発電機の基数や配置、改変区域の見直し等を行う。

凡 例

- 事業実施想定区域
- ◐ 事業実施想定区域(風力発電機の設置対象外)
- 天然記念物
- 巨樹・巨木林
- 事業実施想定区域内
- 事業実施想定区域外

## 5.植物(3)

## 専門家ヒアリング結果概要(専門家E)

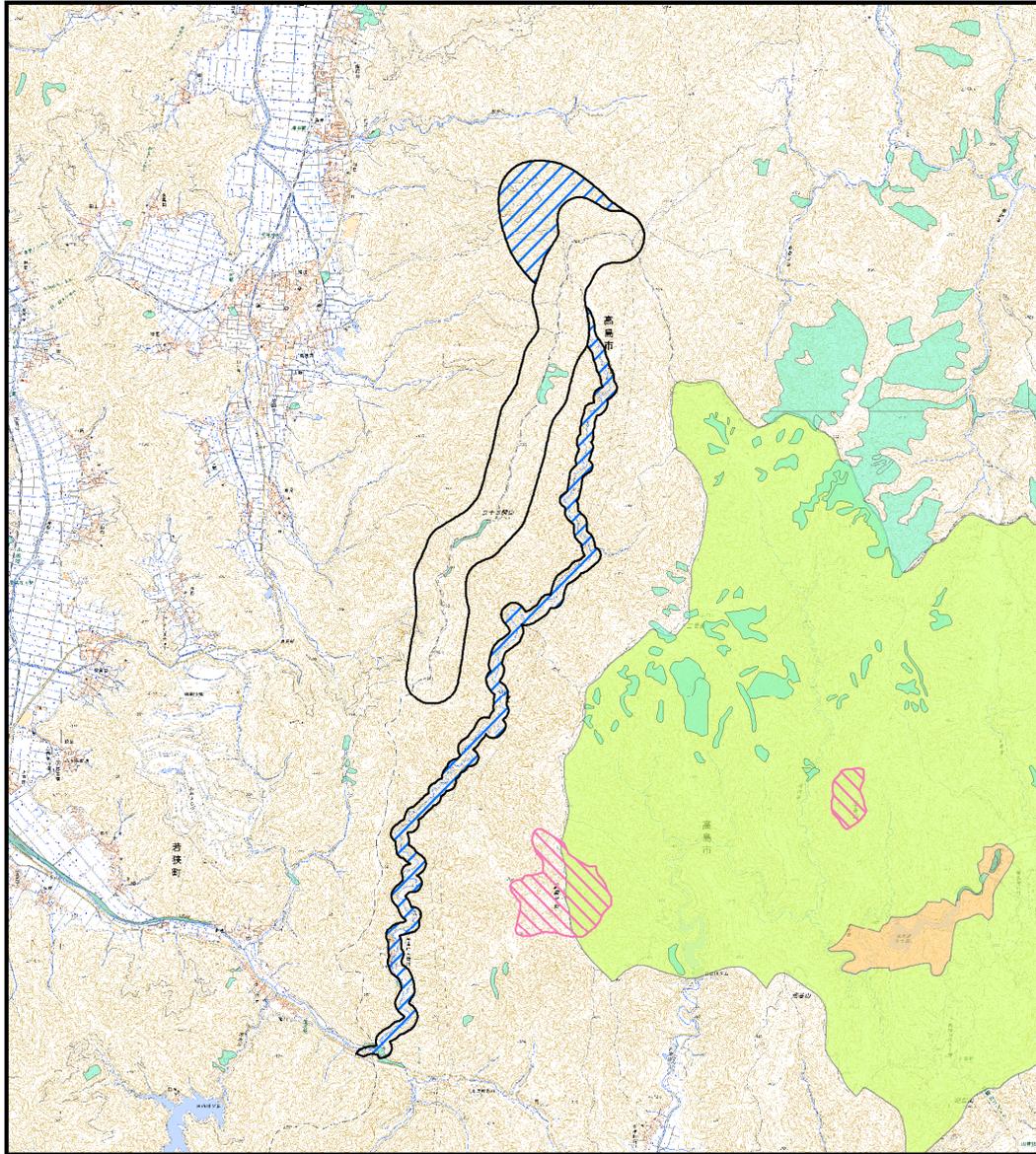
専門分野	属性	概要
植物・植生	名誉教授 理学博士 農学博士	<p>【植生について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施想定区域内の植生調査に関しては、環境省の植生図に基づいているが、現地調査を踏まえて植物社会学的に識別した植生単位に基づいておらず、既存の植生単位に基づいた相観植生図である。一方、滋賀県では多くの現地調査によって収集した植生調査資料によって植生単位を抽出して、縮尺1:50,000、凡例数64の滋賀県現存植生図を1980年に作成しており、今後の滋賀県内の植生調査については、この滋賀県現存植生図に基づくべきである。</li> <li>・環境省の植生図には事業実施想定区域内に欠けている貴重な植生単位がある。まず、丹波山地の東端、比良山地及び野坂山地に広い面積で分布するブナとアシウスギの混交するブナ-アシウスギ群落に欠けている。</li> <li>・事業実施想定区域内の三十三間山の北側の尾根部に岩角地・風衝地低木林が分布するが、事前概要調査の写真から判断すると、岩角地ではなく尾根部の風衝地であり、滋賀県現存植生図のタニウツギ群集に相当するものである。</li> <li>・環境省の植生単位にユキグニミツバツツジ-アカマツ群集が三十三間山付近の尾根部に広い面積で分布する。一方、福井県には標高の低い地域に広い面積で分布しているが、滋賀県にはこの植生単位は、これまで詳細な現地調査を長年にわたって実施してきたが、どこからも確認されていない。したがって、今後の調査に際しては、このユキグニミツバツツジ-アカマツ群集の分布域に関しては、滋賀県の山頂や尾根部に限って分布するアカヤシオ、シロヤシオ、ベニドウダン、サラサドウダンなどのツツジ科植物の優占するアカヤシオ群集とタニウツギ群集に注目して現地調査を実施すべきである。</li> <li>・環境省の植生単位にユキグニミツバツツジ-コナラ群集が事業実施想定区域内ではないが、滋賀県の北部地域における山地の中腹部斜面に広大な面積で分布しており、これは滋賀県現存植生図のミズナラ-アズキナシ群集のアセビ亜群集である。今後の調査において注意すべき植生単位であることを指摘しておく。</li> <li>・自然度9として岩角地・風衝地低木林を、また自然度10としてササ群落の2群落を取り上げた分布図を作成しているが、何故この2群落だけを取り上げたのか、またササ群落は代償植生であり、自然度10とした根拠が不明である。</li> </ul> <p>【植物相について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物相については、適切な資料に基づいて詳細なリストが作成されており、妥当と判断する。ただし、自明の理であるが、事業実施に関係する分布調査資料としては的確なものではなく、改めて詳細な現地調査が必要とされる。</li> </ul>

## 5.植物(4)

## 専門家ヒアリング結果概要(専門家F)

専門分野	属性	概要
植物・植生	自然観察指導員の会会長	<p>【植物相について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文献その他の資料により確認された種は当該地域を含む広い範囲から抽出されており、概ね問題ないと思われる。</li> <li>・ただし、事業実施想定区域の情報ではないため、十分な現地調査を実施していく必要がある。</li> </ul> <p>【植生について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾根部の草地環境は自然度10に相当するものではなく、シカなどの食害により成立した植生であろう。</li> <li>・また、この地域の森林は薪炭林として利用されてきていると思われるので、そういった伐採によるものではないかと思われる。</li> <li>・岩角地・風衝地低木群落のうち、風衝地低木群落は写真を見る限りではそのとおりの植生であると見受けられる。</li> <li>・福井県地域の自然環境情報 生態系区分カルテも参照した方が良い。</li> </ul>

## 6.生態系(1)



## 調査結果

## 【重要な自然環境のまとまりの場合】

事業実施想定区域内には、植生自然度9,10が位置している。

## 評価結果

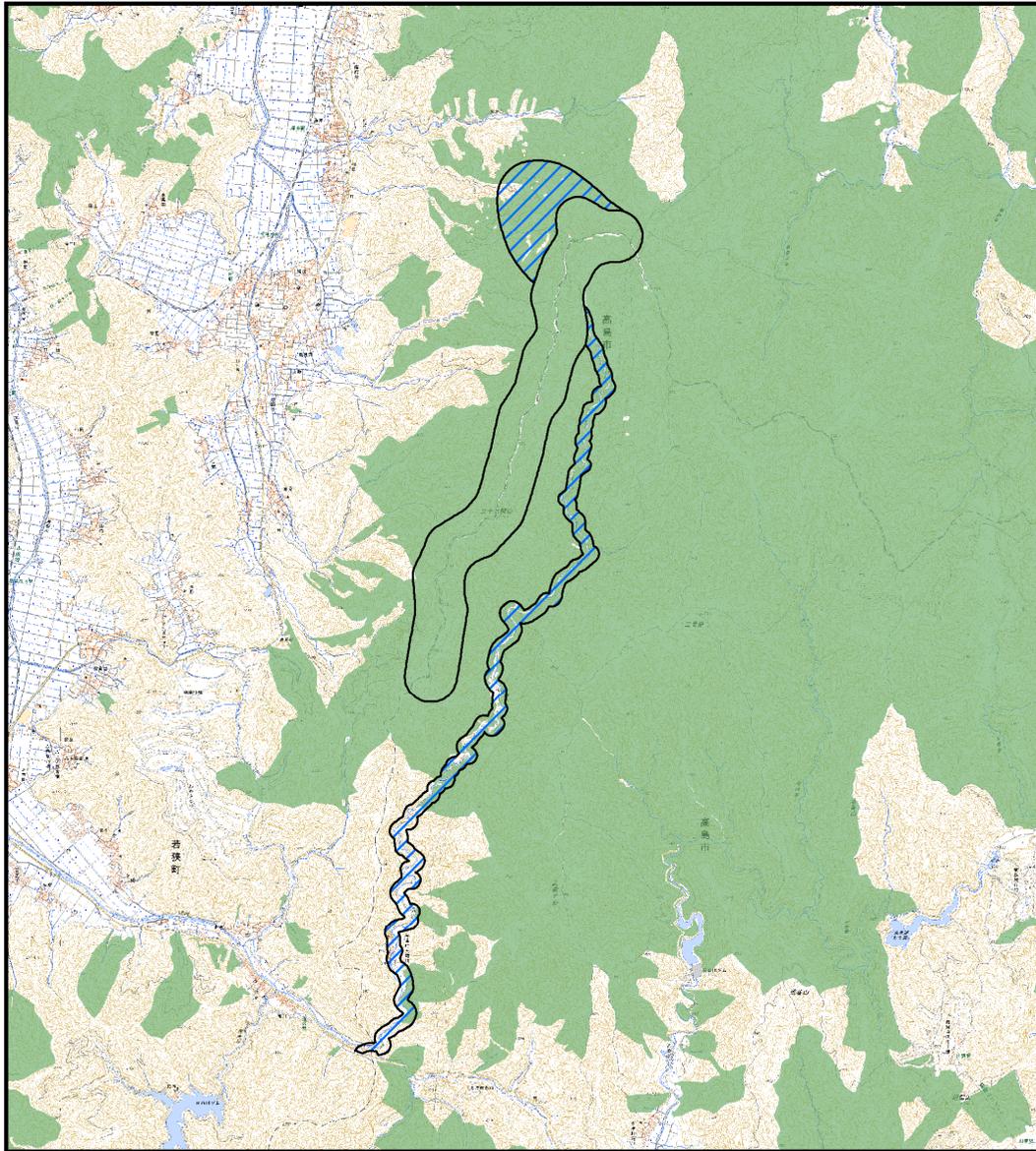
今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 生態系の現況を現地調査等により把握し、また、重要な種及び注目すべき生息・生育の場への影響の程度を適切に予測し、必要に応じて風力発電機の基数や配置、改変区域の見直し等を行う。
- 事業実施想定区域には主に樹林が含まれていることから、現地の状況を踏まえて自然林、保安林といった自然環境のまとまりの場が多く残存するよう検討する。

## 凡 例

- 事業実施想定区域
- ▨ 事業実施想定区域(風力発電機の設置対象外)
- ▨ 特定植物群落
- 植生自然度
  - 10
  - 9
- 琵琶湖国定公園
  - 第1種特別地域
  - 第3種特別地域

## 6.生態系(2)



## 調査結果

【重要な自然環境のまとまりの場】  
事業実施想定区域内には、保安林が位置している。

## 評価結果

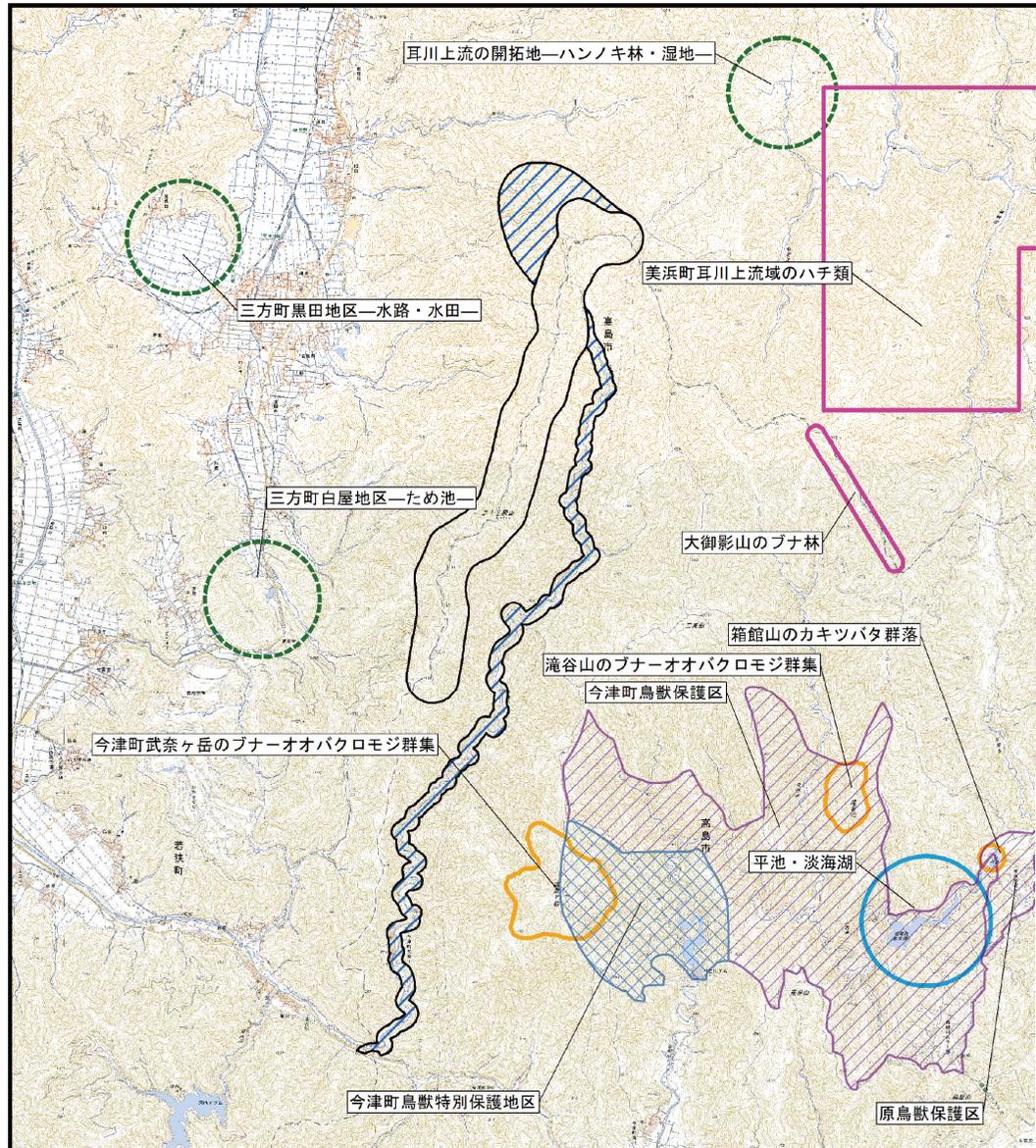
今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 生態系の現況を現地調査等により把握し、また、重要な種及び注目すべき生息・生育の場への影響の程度を適切に予測し、必要に応じて風力発電機の基数や配置、改変区域の見直し等を行う。
- 事業実施想定区域には主に樹林が含まれていることから、現地の状況を踏まえて自然林、保安林といった自然環境のまとまりの場が多く残存するよう検討する。

## 凡 例

- 事業実施想定区域
- ▨ 事業実施想定区域(風力発電機の設置対象外)
- 保安林

# 6.生態系(3)

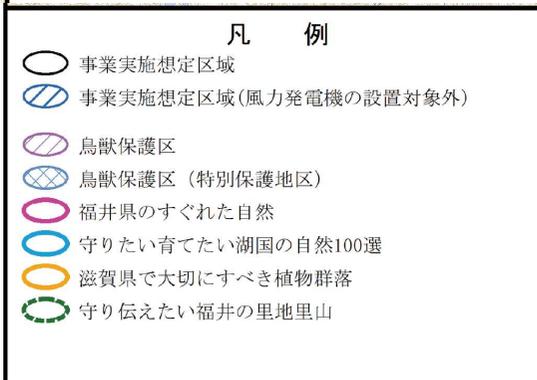


## 調査結果

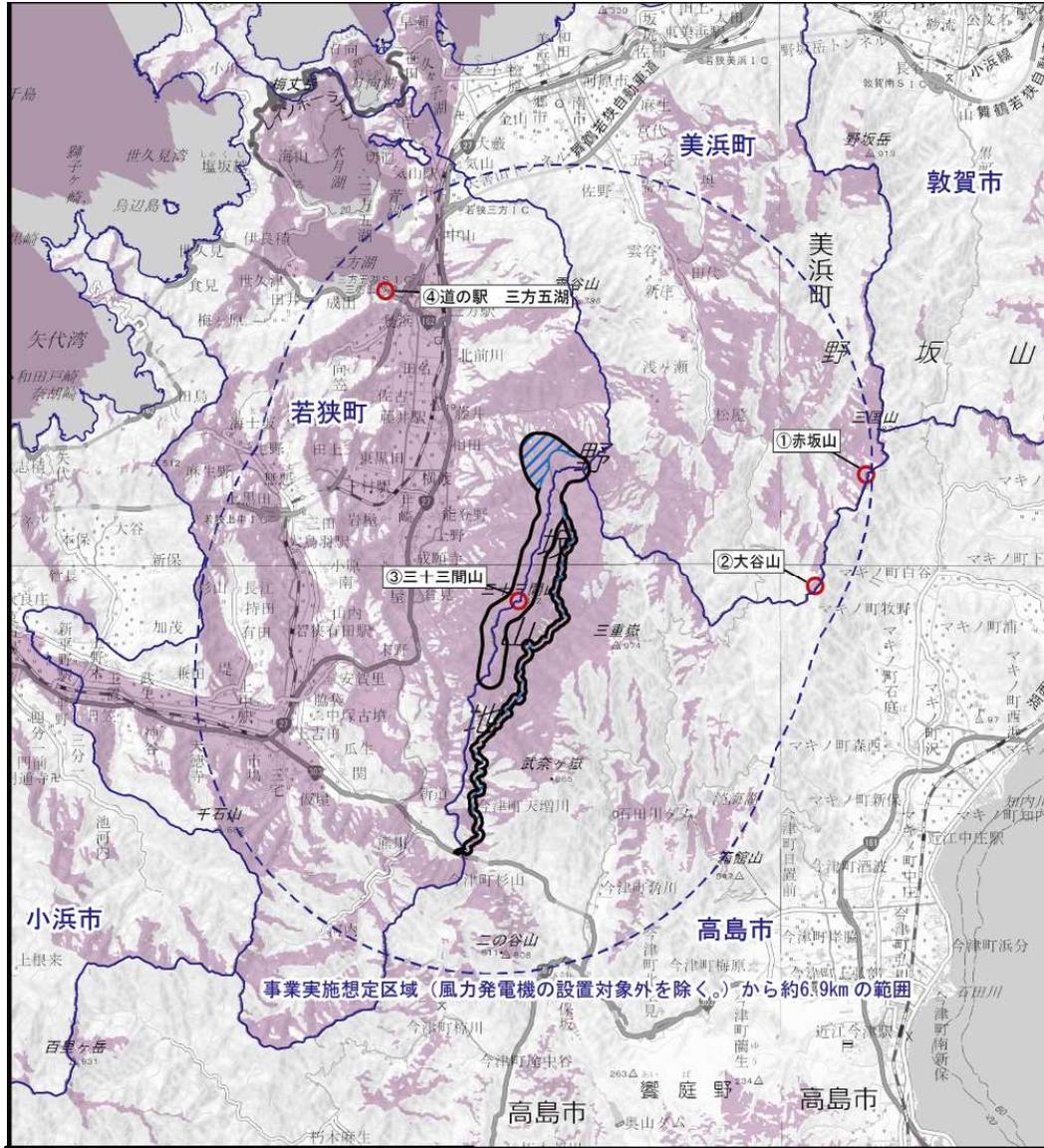
【重要な自然環境のまとまりの場】  
鳥獣保護区、特定植物群落、滋賀県で大切にすべき植物群落、福井県のすぐれた自然、守り伝えたい福井の里地里山、守りたい育てたい湖国の自然100選については、事業実施想定区域外に位置している。

## 評価結果

事業実施想定区域外であるため、重大な影響はないと評価する。



# 7.景観



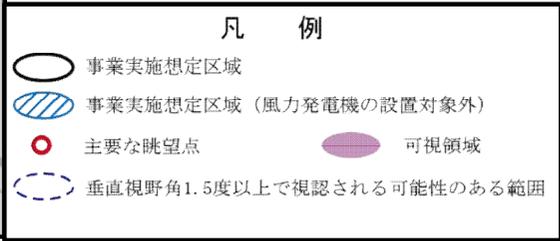
## 調査結果

【主要な眺望点】  
「赤坂山」「大谷山」「三十三間山」「道の駅 三方五湖」の4地点

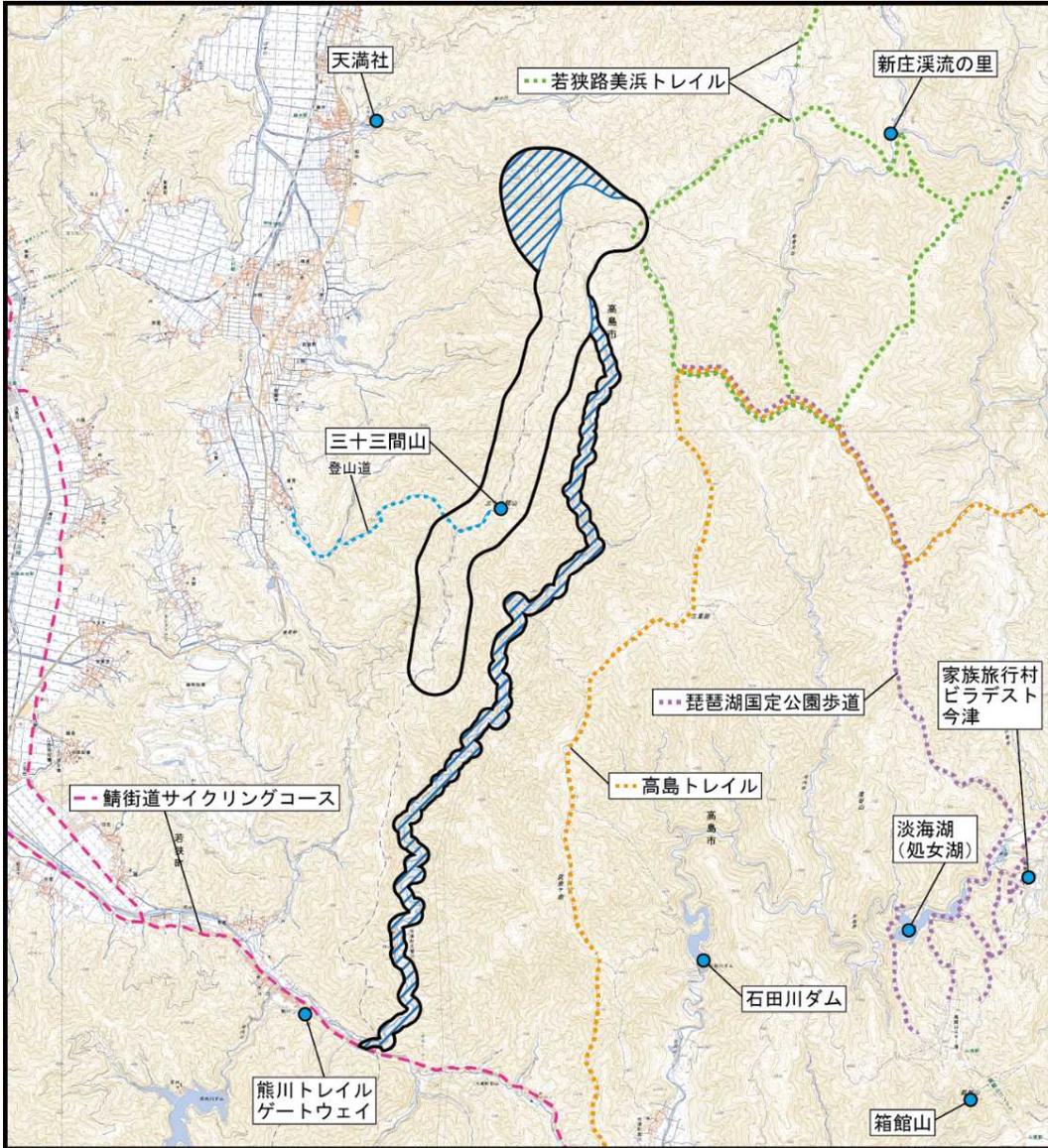
## 評価結果

今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 主要な眺望点の展望施設の状況や眺望目的に利用される場所を調査のうえ、必要に応じて風力発電機の配置を見直す。
- 樹木の伐採を限定し、必要に応じて改変面積を最小化する。
- 主要な眺望点から撮影した写真に発電所完成予想図を合成する方法（フォトモンタージュ法）により主要な眺望景観への影響について予測し、必要に応じて、風力発電機の配置の見直しや環境融和色への塗装等、環境保全措置を実施する。



# 8.人と自然との触れ合いの活動の場



**調査結果** 【事業実施想定区域内の主要な人と自然との触れ合いの活動の場】  
 「三十三間山(登山道を含む。)」 「若狭路美浜トレイル」

**評価結果** 今後の環境影響評価手続き及び詳細設計において、以下に示す事項に留意することにより、重大な影響の回避又は低減が可能であると評価する。

- 「三十三間山（登山道を含む。）」及び「若狭路美浜トレイル」をはじめ、事業実施想定区域及びその周囲の主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、利用環境及び利用状況等の現況調査を実施し、今後の事業計画を検討する際はそれらの結果を踏まえるとともに、必要に応じて、風力発電機の基数や配置、環境融和色への塗装、改変区域の見直し、改変区域の最小化等の環境保全措置を実施する。

凡 例

- 事業実施想定区域
- ▨ 事業実施想定区域（風力発電機の設置対象外）
- 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

## 総合的な評価

騒音・超低周波音や風車の影については、事業実施想定区域から住居等までの距離を1.6km以上確保していることから、重大な影響はないと評価する。

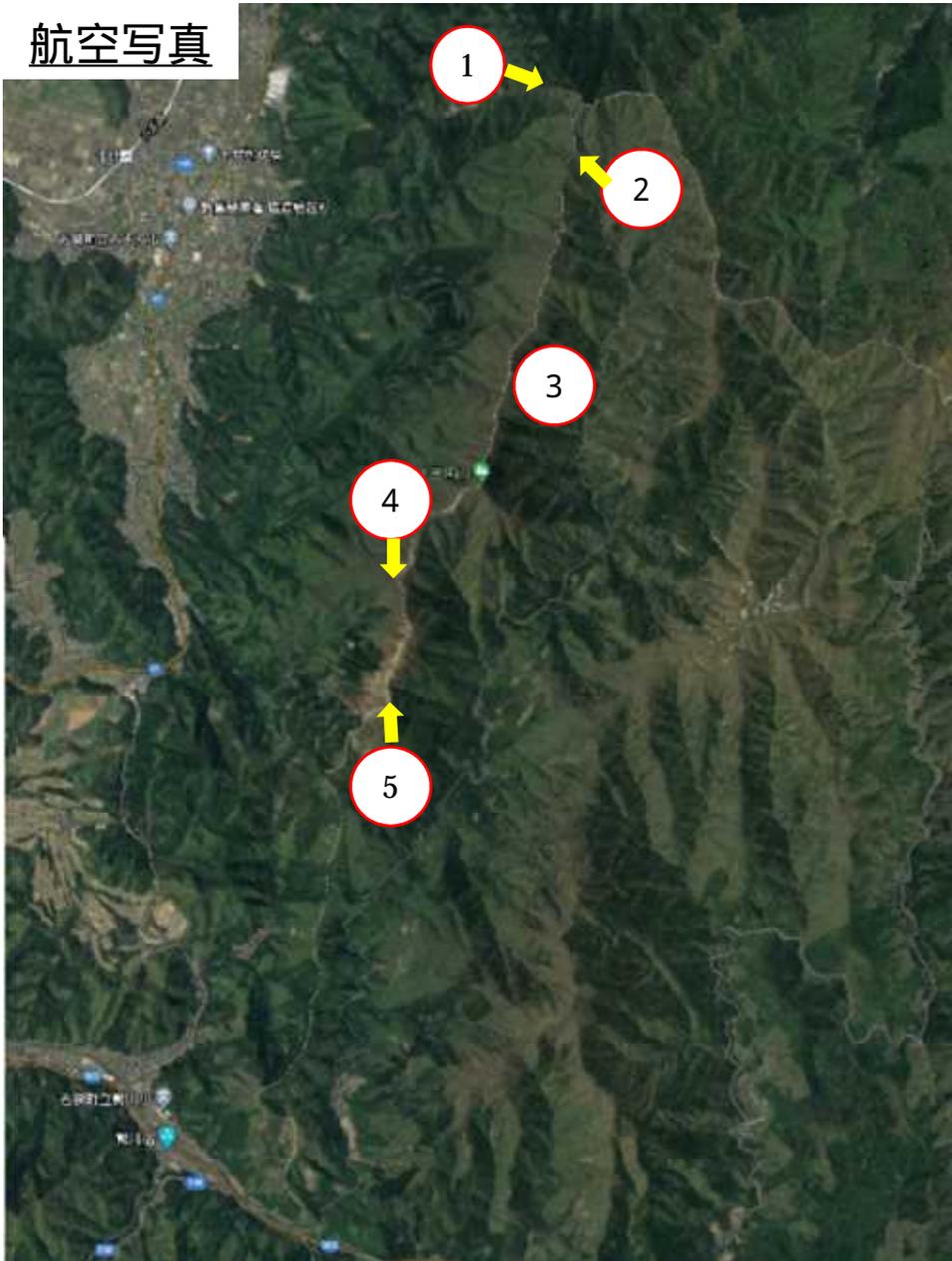
動植物については、動物の注目すべき生息地や重要な植物群落は事業実施想定区域に位置しないことから、直接改変による生息環境の変化に伴う重大な影響はないと評価する。一方、滋賀県側の大部分の森林域が「イヌワシ・クマタカの保護および生息環境保護ゾーン」に指定されており、事業実施想定区域にこれらの種が生息する可能性があることから、その一部を直接改変することにより生息環境の変化に伴う影響が生じる可能性がある。

しかしながら、今後の環境影響評価における現地調査等を踏まえて環境保全措置を講じること等により、重大な影響が実行可能な範囲で回避又は低減されると評価する。

今後、方法書以降の手続き等において、より詳細な調査を実施し、風力発電機の配置や環境保全措置等を検討する。

# 卷末資料(現地写真)

航空写真



撮影年:2022.5



撮影年:2022.5

卷末資料(現地写真)



3  
撮影年:2021.11



5  
撮影年:2021.6

4  
撮影年:2022.7

